

川崎競馬倶楽部

15th ANNIVERSARY

<http://www.kawasakikeiba.com>

since1990

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部

2006年8月号



第3回を数える真夏の重賞スパーキングサマーカップ(3歳上1600m)。3馬身突き放して完勝したのはイシノダンシング。デビューから41戦目、6歳にして初めて踏んだ重賞の舞台だった。

しかしながら初挑戦とは思えない強いレースぶり。好位置につけ、直線では競ったトキノシャンハイを突き放し3馬身差圧勝。真夏の夜空に良血の花がようやく開いた。「外枠ひけたし、いい競馬はできるといったけど勝てるとは思わなかったのが嬉しい。苦手



Photo by YANAGIHARA.P

7月21日 川崎1600m

な不良馬場だったけど外枠でもまれることなくいったのがよかった」と武井栄一調教師は柔らかな笑顔。それもそのはず、重賞の舞台に上がるまで丸3年かかった。

この馬のデビューは2003年6月13日、ナイキアデライトが2冠達成した2日後だった。本来なら皇月賞馬イシノサンデーの半弟として中央でデビューの予定だったが体重はあったものの体質が弱く断念して武井厩舎にきた。少しでも強い調教をすれば歩様が乱れたりもしたが早いところをやるといい感触があった。

デビュー後は成長するにつれて体質も丈夫になり最近では思い切った調教も出来るようになった。昨秋に放牧明けで体重を量てみたら+21キロ。しかし調教を重ね体がしまってもほとんど減らなかった。6歳にして馬体に



身が入りしっかりした成長分の数字だったようだ。「今がピーク。本当の力がついてきた。」という。

レース後、疲労もたまっていたため7月下旬には秋に備え放牧に。1ヶ月位したらピートルネードと一緒に戻ってくる予定。調整は帰ってきてから。馬の

イシノダンシング
父 ダンシングブレーブ
母 ジェフォリー
牡 6歳 鹿毛 2000年4月9日
主 佐藤 孝
調 武井 栄一
教 師 補 久保 勇
佐 久海 誠
騎 手 左 二
務 員 古澤 清英
生 産 者 服部 和則



第3回スパーキングSC優勝イシノダンシング

体調をみて「BCマイルも視野にいれ今後の予定は決める」とのこと。遅く咲き始めた花が大輪の花を咲かせるのももうすぐだ。

「勝つ自信は正直なかったです。もまれると弱いの道中それだけ気をつけました」と左海誠二騎手。スタートはほんと出たが行き脚がつかず少し気合をいれ外からあがって1コーナー過ぎて3番手につけた。3コーナーあたりでは2着に入ったトキノフレンチとの一騎打ち。4コーナー過ぎて直線向いたときにもう一伸びしそうな手応えがあり勝ったと確信した。「外枠だったし自分のペースでいけました。あの展開にもっていければ強いです。いい勝ち方でした」。

2004年5月からコンビを組んだ。「はじめて乗った時、先々走ってくるなという印象はありました。1回1回使うごとに力ついているなど。今はまさに身が入ったという感じ、典型的な晩成型でしょう。」この馬を一言で例えるなら「いい子」なのだそう。

「長所は素直で気性のおとなしいところ。パドックなどでも絶対にいれ込んだりしません。短所はもまれ弱いところ。外枠ならすーっと位置取れす。」左海騎手にとってこの馬は「筆頭の一角」の存在。「もし」BCにでられたら(人気があってもなくても)気楽に乗りたいです。相手はさらに

強くなるけど競馬はやってみなくてはわかりませんから」と早くもイシノダンシングとのG1獲りに意欲をみせた。

「“勝っちゃったよ”って感じでした」とイシノダンシングの普段の世話から調教までこなす古澤厩務員。「普段から手がかからないし調教も乗りやすいです。気性がとにかくおとなしくて。あのクラスならもう少し荒くてもいいくらい」なのだそう。

しかし追いきりでは速い時計を出す反抗心を出す。そこは半弟のイシノゼフィルス(父ブライアンズタイム)とよく似ているらしい。

競馬場に着いてすぐ心音計っても乱れることがないほど何事にも動じないので輸送も大丈夫。前走は間隔が詰まっていたので疲労がたまっていたけれど反動は基本的に出ないタイプ。飼料もよくにんじんが大好き、時間はゆっくりかけて食べる。

素直で手のかからないダンシングだが今年4月追いきりで集中を欠く素振りをみせた。



そこで追いきりを担当する甲斐厩務員と相談しプリンカーを着着した。

「レースでもつけてみたら勝ったのでそれ以来つけています」すぐに効果がでたのもダンシングが素直な性格だからなのだろう。

☆☆☆☆☆ 速報 ☆☆☆☆☆

(次号にて大特集)

...o.o おめでとう o.o...

森下博騎手 2500勝達成



アスターバジル黒潮盃優勝



写真協力:Oさん

川崎競馬 2歳馬特集 ④

* 高月賢一厩舎 *

トロピカルシャワー

牝
父 キャプテンスティーブ
母 スマイルオンミー



7/25に入厩したばかりだが仕上がりが早く8月後半の能力。

●そのほか9頭が入厩したが、母がカーリアンの妹という良血ディアブロ産駒バックアンドヴロー、ティンバーカントリー産駒ボジティヴィティ、ニホンピロニール産駒タイムリミット、オジgian産駒フロンターレウィルは早くも休養に出され秋からの始動に向けて調整されている。

シナノロッキー

牡
父 デザートストーリー
母 ファーストキセキ

8月上旬に能試を受けデビューの日も近い。

* 高月由次厩舎 *

シナノリング

5月28日

牝
父 ムタファーウエク
母 コスモビュービル



「6月の能試は一番時計。腰さえパンとすれば走る」と期待。

ピコ

2月4日

牝
父 ディアブロ
母 レディフリージア



スピード値高い。8月後半能試。

*** 中野五男厩舎 ***



タイショウ
5月2日
牡
父 ミシル
母 ササヤキ

8月8日能試。能試は出遅れてしまったが能力的に期待値い。



キョウエイマンボ
4月22日
牝
父 ナリタトップロード
母 プリンセスマンボ

今んとこ大人しい。血統からも差し馬に育ちそう。

*** 長谷川茂厩舎 ***

ロイヤルグローバル
5月5日
牡
父 カリスタグローリ
母 モンベツハマナス



良化途上だがスピードなら精鋭揃いの二歳でもピカ一。

ロイヤルボス
2月27日
牡
父 アメリカンボス
母 リードスキー



新馬戦快勝。距離経験してさらに良くなりそう。

ロイヤルラッキー
4月25日
牡
父 ニホンピロニール
母 ラッキールックス



まだ心身共に幼いが根性あり。

- ロイヤルパワーは短期放牧中。

*** 長谷川三郎厩舎 ***

キエヌルキア
4月6日
牝
父 キュプテンスティープ
母 ファストトバース



厩舎の期待馬。スタートセンスあり跳びが柔かい。スピードあってバネがいい。

セントリリー
3月15日
牝
父 ブラックタキシード
母 スパラシイ



馬が子供でスタートに課題あり。



ダイアナツバキ
5月15日
牝
父 アドマイヤコジーン
母 ローレルビューアー

カリカリした気性に落ち着きが出てくれば。

- そのほかキンググローリアス産駒キウエイプリムラ、パラダイスクリーク産駒カカは7月のレースのあと休養に出ている。

*** 長谷川蓮太郎厩舎 ***

コックドール
3月23日
牝
父 アジュティケーティング
母 ロングエクシード



5月に入厩後ササ針を施し、ようやく乗り始めたところ。

馬名未定
牝
父 フレンチデビューティ
母 オルデンシア



母は中央3勝で血統からも期待は大きい馬連車という課題を抱えまだメドがたっていない。

**○ ▲ おつかれさま ▲ ○
平成18年7月退厩馬**

調教師名	馬名	性	齢	退厩先	退厩理由
池田孝	サイクロトロン	牡	4	福島県	乗馬
池田孝	スピードマスター	牡	4	福島県	乗馬
佐々仁	ファイトマン	牡	8	栃木県	乗馬
安池	マンダリンドリーム	牝	6	北海道	繁殖
山田正	ウイングライン	牝	3	群馬県	乗馬
長谷茂	コテツ	牡	3	群馬県	乗馬
中野	プレブパワー	去	7	福島県	乗馬
三橋	エイシンリトルオー	牡	4	愛知県	転厩
武井	ミヤビパーフェクト	牡	4	群馬県	乗馬
田島	ビバオグリワンダー	牝	4	群馬県	乗馬
長谷蓮	ヤンチャヒメ	牝	3	福島県	乗馬
安池	エンジェルデリー	牝	8	福島県	乗馬
長谷三	トキノナイスガール	牝	7	栃木県	乗馬
内田	シャンハイノシマ	牡	4	栃木県	乗馬
今井	オオシアイコ	牡	4	愛知県	転厩
田島	オンワードボーン	牝	4	群馬県	乗馬
照沼	カネショウハンター	牝	3	栃木県	乗馬
河津	タンプリンダイス	牡	6	埼玉県	転厩
池田孝	リニモスター	牡	3	茨城県	転厩
佐々仁	ディーズデザイヤー	牝	3	千葉県	転厩
内田	ブライトサンダー	牡	3	千葉県	転厩
内田	シップアルーフ	牝	3	北海道	繁殖
大和明	サトデンスズラン	牝	3	福島県	廃用
池田孝	ヒカリレアメタル	牡	3	福島県	乗馬
三橋	カイザーケン	牡	2	岐阜県	転厩
鈴木敏	サイケントケニー	牡	7	茨城県	乗馬
高月賢	ノースチャボウ	牝	3	神奈川県	廃用
河津	ブラッシングスカイ	牡	7	東京都	転厩
久保秀	ブリトニー	牝	5	群馬県	乗馬
八木仁	ハクシュウウィナー	牝	3	栃木県	乗馬
照沼	セウウダイヤ	牝	3	福島県	乗馬
中野	キックアップ	牡	4	福島県	乗馬
池田孝	グローリアスキング	牡	4	福島県	乗馬
池田孝	イルフェジュール	牡	3	福島県	乗馬
田島	ウエスタンベガ	牝	4	北海道	繁殖

*** staff room ***

●嬉しい悲鳴です。イシノダンシングが待望の重賞制覇を果たしたと思ったら、森下ジョッキーの2500勝達成、さらにはアスターバジルが黒潮盃優勝して遅れてきた大物ぶりを発揮しました。2歳馬紹介をメイン特集にできずにいるくらい。盛り上がってきました川崎競馬！ JBC開催まで75日を切りましたぞあつ、その前にノ瀬ジョッキーの1000勝達成をぜひ！！ あと一つ。待ち遠しい～

あ

●重賞初挑戦初制覇で晴れて重賞馬となったイシノダンシング。秋に備え7月末にご褒美の夏休みに入りました。そのダンシングのあとの馬房にはいつてきたのが写真の芦毛っ仔2歳。父はカコイシーズ、母はビューティセシル。もうお気づきですね。エスプリゼット、エスプリシルバー、エスプリフェザントの弟です。人懐っこく、とてもおとなしい素直な子です。馬体は幼いながらもすでに500キロを越す大型馬。まだ入厩したばかりなのでデビューはまだまだ先ですが楽しみな子が仲間入りです。ちなみに今年のエスプリの冠名の子達の名前は「きかんしゃトーマス」シリーズから。子供たちと一緒に応援っていうのもたいていのもかもしれませんね。

楓

●休みを利用して金沢と園田の競馬場に行ってきました。別に狙って行った訳ではないのですが、金沢では元川崎のイブキザンシロウに、そして園田ではモエトレジャーに再会出来ました。走る競馬場は変わったけれど堂々とパドックを歩く彼らの姿に、一緒に行った友達と思い話が尽きませんでした。そして偶然ですが、レースでは両馬とも人気薄ながら3着。頑張りを見せてくれました。全国各地で地道に頑張り続ける川崎出身馬たち。旅先でまたそんな彼らの元気な姿に会いたかったです。

とら

●11月2日、3日の川崎へ向け、「JBC カウントダウントロフィーリレー」が名古屋からはじまりました。地方競馬全体あげてのこういうイベントはとってもうれしいですね。JBC 当日も、全国各地から代表馬が出走してレースを盛り上げてほしいですね。本当に今から楽しみです

梅

HAPPY BIRTHDAY 8生まれ

拜原靖之騎手(3日) 栗林信文厩務員(3日) 河津裕昭調教師(6日) 河崎和博厩務員(6日)
三宅章裕厩務員(7日) 山林堂信彦騎手(10日) 鈴木長松厩務員(11日) 志村直裕厩務員(12日)
田島寿一調教師(14日) 齊藤武夫厩務員(20日) 中原良二厩務員(21日) 小竹清一厩務員(22日)
佐藤伸一厩務員(22日) 田辺陽一調教師(25日) 加藤誠一厩務員(25日) 古澤清英厩務員(30日)

栗林 信文 厩務員 <山崎専美厩舎>



5月28日、五島列島で行われたアイアンマントライアスロンに挑戦したのは山崎厩舎に所属する栗林信文厩務員である。約800人が参加したその大会で214位という好成績を残した彼だが、「成績には納得していない」そう。

京都出身の栗林さん。周りに競馬関係者もおらず、競馬に興味もなかった彼がこの世界に入ったきっかけは少々珍しい。何と「スタントマンになりたかった」のだ。抜群の運動神経が要求されるスタントマンになるためには乗馬が出来た方がいいかなと思い、習い始めたのが馬との出会いだった。そこで馬に乗る事の面白さを知り、北海道の牧場で働くようになった。その後「レースに出す直前まで馬に携われるから」というところに魅力を感じ、川崎競馬の厩務員になった。

いくつかの厩舎で働いたが、「今まで担当したどの馬にも思い入れがある」ときっぱり言う。その中で特に印象深い馬は、「シャトーチェリー」。小さくて400kgくらいしかなかったけどよく走ってくれた。」

今も競馬で競うことより、馬そのものが好きだそう。「目が優しいよね。一日中馬の世話をしているといい。やればやるだけ強くなるし。」

そんな栗林さんの趣味はやはり「走る事」「トレーニング」。ちなみに走り始めたのは、「仕事だけで体を余していたのもあったけど、馬も毎日走るから自分もトレーニングしようと思った」事がきっかけだそう。毎日10kmほど走っているせいか、ますます体力は上がってきたとの事。

来年もまたアイアンマントライアスロンに出ますか？との質問には、「次は70歳になったら出ようか」と思っている。」と意外な答えが返ってきた。「一緒に宿に泊まっていた参加者に70歳の人がいだったので。自分もその歳で出られたら・・・と思って。」

余談になるが、この大会に川崎競馬のロゴマークと担当していたズノーズノーをプリントしたシャツで出場した栗林さん。何人かに声を掛けられたそうで、川崎競馬のアピールに一役買ったようだ。

馬に接するときには気をつけている点は、「馬と同じ目線で対等に接する事。うちの先生も馬を大事にする人だし。」現在の担当馬はラベルビジュールとアルメイダ。

「調教などは先生が決めてくれる。」とは言うけれど、自分の馬を作り上げる事にやりがいを感じているように見えた。

誕生日は8月3日だが、特別な事は何もしてなく、仕事をして過ごしたそう。

仕事に興味にと充実した生活を送る栗林さん。トレーニングを始めてからタバコもやめたそう。近いところでは8月27日のマラソン大会に出場予定だとか。

愛馬たちの好走ももちろんだが、アイアンマンの走りにも注目したい。

